

小学校第6学年



【国語】

- ◆言語活動を通して、人との関わりの中で、国語で伝え合う力を高めること
- 例:それぞれの立場を踏まえて話し合う、文章を読んでまとめた意見や感想を伝え合う。

- 考えたことや伝えたいことを書く活動
- 必要な文章を読む活動



年間指導計画参考例

一般社団法人 教科書協会 学習活動の重点化等に資する年間指導計画参考資料

〔家庭学習課題と授業での取扱いを関連付ける事例〕

- 授業で決めた話題（質問）について自分の考えを、理由を明らかにしてノートに整理する。（意見の例は教科書を参考にする）

＜話題・質問例＞

- ・学習の筆記用具はシャープペンシル？鉛筆？
- ・調べるならテレビ？新聞？インターネット？

- 授業で作成した構成メモをもとに、テーマに沿って意見文を下書きする。

＜テーマ例：エネルギー・水・ごみ・食料 等＞
（下書きの例は教科書を参考にする）

- 授業での読みをもとに、登場人物の生き方や人物同士の間接的関係をとらえる際の根拠となる叙述を探してワークシート等にまとめる。

○家庭学習 ◆授業

- ◆観点を明確にしてグループで意見を聞き合う。

えんぴつのほうが、しんが折れにくいので集中できるからいいと思うよ。

えんぴつのしんが丸くなると、線が太くなって私は集中できないな。聞いたことからもう一度考えてみよう。

- ◆内容や書き方をグループで検討する。

具体的な例を書いた方が読む人に伝わりやすいんじゃないかな？

確かに、文が長すぎるな。箇条書きで例を書いてみよう！

- ◆共通点、相違点、質問等を付箋で伝え合う。

中学校第3学年



【国語】

- ◆言語活動を通して、人との関わりの中で、国語で伝え合う力を高めること
- 例:互いの考えを生かしながら話し合ったり、様々な文章を読んで考えたことを伝え合ったりする。

- 関心のある事柄について自分の考えを書く活動
- 学習課題に応じて文章を読む活動



年間指導計画参考例

一般社団法人 教科書協会 学習活動の重点化等に資する年間指導計画参考資料

〔家庭学習課題と授業での取扱いを関連付ける事例〕

授業前

- 作品を通読する。その中で場面設定や登場人物の人物像、人間関係をノートにまとめる。

- ・複数の場面の共通点や相違点
- ・登場人物の設定（性格・特徴・状況 等）
- ・人物同士の対比（立場・様子 等）

授業後

- 授業で学んだこと、理解したことを自分の言葉でまとめ、定着させる。

- 作品のどんなところに着目したか、〇〇について考えたことなど、ねらいに沿って書く。

○家庭学習 ◆授業

- ◆場面設定・人物像・人間関係を確認する。
- ◆個人で登場人物の心情や関係の変化を読み取る。読み取る際の視点や注目すべき記述・表現などを共有する。
- ◆作品から考えたことを、根拠となる記述を含めて自分の言葉でまとめ、意見をグループで交流する。（例：記述について付箋でコメントを残す等）
- ◆時代や社会の変化、人と人との関わり、作者の意図、表現方法など学習を振り返り、まとめる際の視点を共有する。